

令和3年7月13日

株式会社 清水銀行

## ～環境に優しいセルロースファイバーを高配合したカルトンの導入～

清水銀行（頭取 岩山 靖宏）はこの度、株式会社巴川製紙所（代表取締役社長 井上 善雄）とエフピー化成工業株式会社（代表取締役 赤澤 英郎）が共同開発した、ポリプロピレン樹脂に天然素材であるセルロースファイバーを配合した「グリーンチップ®CMF®」を原材料とするカルトンを一部店舗で導入いたします。

昨今の海洋プラスチック問題や石油資源の枯渇・地球温暖化といった環境問題から、天然資源の効率的な活用や海洋汚染の防止および大幅な削減が国連の開発目標として定められ、石油由来のプラスチックの削減が世界的に求められています。

「グリーンチップ®CMF®」は、植物由来のバイオマス資源であるセルロース繊維を高配合できるため、石油由来樹脂の使用量の低減によりCO2を削減しSDGsの達成に貢献する、環境に配慮した複合樹脂です。

今回導入するカルトンは、セルロースファイバーを51%以上配合した「グリーンチップ®CMF®」を原材料とすることで、プラスチック使用量の削減に大きく貢献できることに加え、紙製品と同様に可燃物として廃棄することが可能な、環境に優しい製品です。

また、カルトン全面に施したコーティングは「光触媒技術」を採用し、光を当てるとウイルスや細菌を分解する作用を持ちます。店舗の蛍光灯で新型コロナウイルス対策が可能となり、摩耗などを考慮して3～4年、効果が持続されます。

当行は今後も豊かな自然環境に恵まれた静岡県を主要営業基盤とする地域金融機関として、脱炭素化社会の実現に向けた取り組みをすすめ、地域の持続的な成長に貢献してまいります。

※「グリーンチップ®CMF®」は株式会社巴川製紙所の商標登録です。



以上

<ニュースリリースに関するお問い合わせ>

清水銀行 経営企画部 小澤 : 054-353-7895

